

宮崎発夢未来～美しい郷土を子どもたちに

みやざき中央新聞

The Miyazaki Central Journal

みやざき中央新聞 2007年7月2日
掲載記事 社員教育研究室



剛上がりの後のぬかるみを轆馬車が
走ると、その後にはわだちが残りま
す。車
だつたらタイヤの跡が残るでしょ
う。
つらなつたそのタイヤの跡を「キャ
リア」と
言います。つまりキャリアとは「生
きて
きた道すじ」です。

だから、「自治会の役員でイベントを
やった」というのもキャリアだし、「子
育てしながら児童会の会長をやった
」
というのも立派なキャリアです。

私たちに、「将来、こんなふうにな
りたい」という目標があるでしょう。そ
して現在がある。その将来の目標に向
かつて、どうやって自分をプランニン
グしていくか、それを「キャリアデザ
イン」といいます。

そのためにまずやらなければならな
いこと、それは「現状」を知ることです。
そのために、自分にいくつかのアプロ
ーチをかけていかなければなりません。
そのアプローチの一つが、「環境の理解
」
です。

もう一つは、自分はどのような仕事

株式会社・キャリアデザイン代表取締役
キャリアカウンセラー

坂巻 美和子

したいのか、どういう力を身につけよう
としているのかという「自己理解」です。



「環境の理解」でまず挙げられるのは
「情報化」でしょう。

近年のIT化、インターネットの普及
はすごいです。これから仕事を探すので
あれば、パソコンを全然知らないとい
いけません。パソコン教室に行かれたりして
勉強しておく必要があります。

次なるキーワードは「少子高齢化」「高
齢化社会」と「高齢社会の違い」に分か

人生は二毛作 できる時代に なりました

りますか？ 世界共通の定義があるん
です。65歳以上が、その国の人口の7%
に到達すると、その国は「高齢化社会」と
呼びます。人口の14%に到達すると「高
齢社会」、そして人口の21%に到達する
と「超高齢社会」になります。

平成18年の発表によると、日本の高齢
化率は20.7%でした。つまり日本は今
「高齢社会」で、あともう少しすると「超
高齢社会」になるところまで来ていると
いうことです。

日本が高齢化社会になったのは19
70年で、1994年から高齢社会にな

りました。その24年という期間の短さが、
日本社会のいろんな分野で重みを生み
出しています。たとえば、ドイツは40年
かけて高齢化社会から高齢社会になり
ました。イギリスは76年、スウェーデン
は85年、フランスは127年かかりまし
た。



ライフサイクルも変化しました。一般
的に社会に出ていくのは18歳とか22歳
くらいです。その社会に出た年齢か
ら26、7歳までの期間が、一つの期間と



